三豊工だより

平成 24 年 3 月 1 日
No.92

香川県立三豊工業高等学校

〒769-1689　観音寺市大野原町大野原 5537 番地
TEL　(0875)52-3011　　FAX　(0875)52-3012
ホームページ　http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/　　E-mail　mitokh01@kagawa-edu.jp
連絡・お知らせ用 http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/（携帯電話からご覧になれます）

卒業生のみなさんへ

3年主任　勘原利幸

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。全員が就職、進学とそれぞれの進路を決め、この日を迎えられたことは、みなさん自身はもちろんのこと、ご家族をはじめ我々教職員にとっても大きな喜びです。しかし、その反面、私たちが忘れてはならないことがあります。昨年の卒業式から１０日後、３月１１日に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生しました。この震災による津波は２万人超の死者行方不明者を出したばかりか、福島第１原発を破壊し、未だに数万人の方が自宅に戻れないでいます。この東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福を皆さんと共にお祈りするとともに、一日も早い復旧と復興を願い、それぞれの立場で関わっていきましょう。

私たちは、この震災からたくさんのことを学びました。震災直後、被災地の映像が世界に報道されると日本人の道徳心を称賛する声が上がりました。「絆」という言葉の下に日本が一つになろうと、全国各地から支援の手が寄せられました。誰もが日本人としての誇りを新たにしたことと思います。本校生徒会も募金活動を行いました。

この国の将来は、これからのみなさんに託されます。地域にとって、日本にとって有為な人材になっていただくことを切に希望します。本校の校歌に「見よ国興す工業の使命は重く励みゆく」とあります。就職するみなさんの多くは、地元の企業でものづくりに従事します。本校で学んだ工業の技術・技能を遺憾なく発揮して地域産業の担い手となってください。

みなさんの前途は楽しいことばかりではありません。毎年のことですが、夏までに数名の者が会社を辞めたい、学校を辞めたいと相談にきます。辛抱我慢は大切なことですが、それだけでは解決できないこともあります。卒業してからも学校と皆さんの関係は続きます。困ったとき、悩んだときは迷わず学校や先生を頼りましょう。きっと力になってくれることでしょう。

この先、それぞれが異なる道を歩み始めるわけですが、金子みすずの有名な詩にあるように、人をうらやまずに自分の人生を自分らしく生きてください。Let’s　begin！

わたしと小鳥と鈴と　　金子みすず

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、
地面（じべた）をはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴る鈴はわたしのように、
たくさんなうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

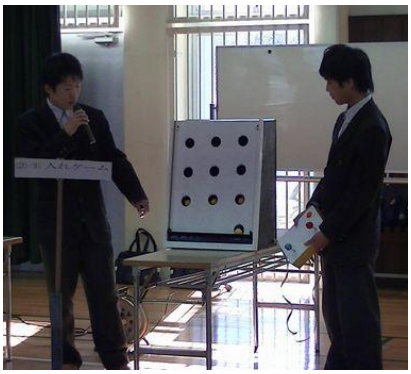
課題研究製作作品を西部養護学校に贈呈

人が喜ぶものづくりができました！！

２月 20 日（月）に電子科３年生７名（石川、請川、小野、小西、藤村、藤原、渡内）が課題研究で製作したボタンタッチゲーム、球入れゲームおよびボールキャッチゲームを西部養護学校に贈呈しました。これらの装置は、本校が取り組んでいる「人や社会に役立つものづくり」の一環で製作したものです。４月に西部養護学校を取材した中で、「生徒のボタンやレバー操作が音や光、または機械的な動きに反映されれば、その手足の訓練や自分で考えて目的を達成することに繋がる」という説明を聞きました。その要望の実現のため、製作途中で直面した問題点も創意工夫によって克服し、完成にこぎつけたとともに、第９回高校生技術・アイディアコンテストでも佳作を受賞しています。

贈呈式に参加した西部養護学校の生徒は、歓声を上げて３つの装置を体験していました。新聞社のインタビューに対し、石川達也君は「こんなに喜んでもらえるとは思っていなかった。初めて誰かのためにものづくりを経験したが、とてもやり甲斐があった。」と答えていました。１，２年生のみなさんには、この取り組みを引き継いでもらいたいと思います。

ボタンタッチゲーム



球入れゲーム

ボールキャッチゲーム

インターンシップに行きました！

本校では、「産業現場での知識や技術・技能に触れることにより、学校における学習への理解の深化や意欲の喚起を図ること、勤労観や職業観を育て、職業適性や将来設計について考える機会とすること」などを目的として、毎年２月に、２年生が地元企業の協力のもと３日間のインターンシップ（職場体験）を行っています。今年も２月７日（火）～９日（木）の日程で、４３企業・事業所に１０１名が参加しました。事後アンケートの結果をみると、生徒は職場における取り組みの厳しさや、コミュニケーションの大切さなどを実感したようです。

この体験を活かし、来年度の進路選択で悔いを残さないような学校生活を送ってほしいものです。

全国1位になりました！！メカトロ部 2年 吉田勇也くん

毎年１月に、両国国技館でロボット相撲全国大会が開催されます。ロボット相撲は、２台の手作りロボットが鉄製の円形土俵上で戦う競技です。今年度も本校メカトロ部から９名が参加し、吉田勇也くんが、見事全国一位になることができました。吉田くんに以下のようなコメントをいただきました。

全国大会に選手として出るのは初めてでとても緊張しました。しかも初戦がいきなり同じ学校の一年生だったのでとてもいやでした。自分の手の内がばれているのでどうやって戦うか結構悩みましたが、あんまり考えても自分の動きが悪くなるので、いつもどおりの動きで挑みました。その後は落ち着いて戦うことができ、優勝することができました。補助員の先輩や周りの先輩方、顧問の先生方に声をかけてもらって安心して戦うことができました。遅くまで練習してきた成果が大会に出たので本当にうれしいです。

これからも大会でよい結果がだせるようにがんばりたいです。

課題研究作品を贈呈し講演していただきました！

２月 24 日（金）３限目に観音寺の毛利公一さんに携帯スロープの贈呈を行いました。そして贈呈式の後は毛利さんより「よく生きる」というテーマで講演していただきました。

この携帯スロープは、機械科 3 年生の課題研究で製作したものです。メンバーは石川徹、岩倉匠吾、川口祐司、三木祐樹の４名です。昨年４月より、毛利さんとの打合せでスロープの用途、大きさ等を決定し、1 年間かけて製作しました。最初は観音寺駅にあるスロープを全員で見に行き、参考にしたりしました。その後、厚紙で模型を作り、構造や材料の寸法の検討を行いました。設計が出来てからは鋼材を用いて試作品を作り、不具合を調べました。そして、ようやく 2 学期の途中からアルミを使って製作を始めました。軽く、かつ強度のあるものを作りたかったので、溶接の練習にかなりの時間を使い、しっかりとしたスロープを目指しました。完成したスロープは約 18kg と計画していたよりも重くなってしまいましたが、出来るだけ活用していただければと思っています。重さを含めて、すでにいくつかの改良点も浮かび上がっていますので、毛利さんからの意見を聞くことによって、この後、多少の改良を加えたいと考えています。

創立50年の思い出　昭和38年度（創立2年目）

校歌、決まる！

昭和 39 年２月、三豊工業高等学校の校歌が決まりました。作詞は河西新太郎氏、作曲は大川かづゆき氏です。

河西氏は郷土を中心に活躍した詩人で本校を含め数十の小中学校の校歌を作詞されています。また、大川氏は昭和 25 年に県下ではじめて四管編成のジャズオーケストラを結成するなど、精力的に活動をされた方で「ふるさとの歌づくり」に貢献されています。

一

明けゆく朝の　雲もえて
三豊の平野　陽はのぼる
見よ溌剌の　眉あげて
希望も若く　学びゆく
三豊工業　力あり

二

燧の海の　波あおく
知性を珠と　磨きつつ
見よ国興す　工業の
使命は重く　励みゆく
三豊工業　誇あり

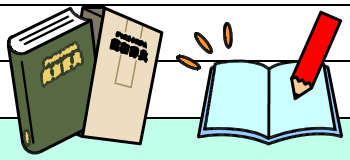
三

時代の風は　新しく
友愛花と　咲き匂う
見よ研学の　この窓に
ゆるがぬ誠実　讃えゆく
三豊工業　栄えあり

本校校歌

２４年　３月　行事予定表

日	曜	行事	
1	木	第４８回卒業式（10時～）　生徒の職員室入室禁止	
2	金	学年末考査	
3	土		
4	日		
5	月	学年末考査	
6	火	学年末考査　３限：ＨＲ	
7	水	1,2限：授業　3限：大掃除	
8	木	一般選抜	
9	金	一般選抜	
１０	土		
１１	日		
１２	月	午前中授業①～④（1,2,5,6限）	
１３	火		
１４	水		ＳＣ
１５	木		
１６	金		
１７	土		
１８	日	※重要　新学年教科書購入　～3/31書店：合川文泉堂	
１９	月	終業式・大掃除・ＬＨＲ　一般選抜合格者発表（9:00）	
２０	火	春分の日　春休み（～4/5）	
２１	水	合格者招集（9:00～）	
２２	木	単位追認考査	
２３	金	単位追認考査	
２４	土		
２５	日		
２６	月		
２７	火		
２８	水		
２９	木		
３０	金		
３１	土		



食堂営業（3/12～）　離任式・始業式(4/6)　入学式(4/9)　四月テスト(4/12：英数・1,2年)

ﾎﾞｲﾗｰ実技講習会(3/22～24：丸亀市)　ＳＣ：スクールカウンセラー来校１２：４０～１６：４０